

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町上北方 奥本上ため池災害復旧工事（501）に適用する。
 - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - 農業土木共通仕様書（令和4年4月）・農林土木工事施工管理基準（令和4年8月）広島県
 - 土木工事共通仕様書（令和5年8月）・土木工事施工管理基準（令和5年8月）・写真管理基準（令和5年8月）広島県
- ※ 土木工事共通仕様書・管理基準，農林土木共通仕様書・管理基準は「広島県の調達情報」に掲載している。
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
・その他関連規格類

第2節 現場代理人の常駐義務の緩和

監督員等と携帯電話等で常に連絡がとれることに加え、次に掲げるいずれかの事由に該当する場合には、建設工事請負契約約款第10条第3項に規定する「現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がなく、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合」として取扱う。

- (1) 請負代金額が3,500万円（建築一式工事にあつては、7,000万円）未満
- (2) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
- (3) 建設工事請負契約約款第20条第1項又は第2項の規定により、工事の全部の施工を一時中止している期間
- (4) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であつて、工場製作のみが行われている期間
- (5) 前3号に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- (6) その他、特に発注者が認めた期間

第3節 現場代理人等の兼務

受注者は、三原市が定める「現場代理人及び主任技術者の制度の変更について（令和2年1月6日）」により、現場における現場代理人又は技術者等との兼務を発注者に申請することができる。

<https://www.city.mihara.hiroshima.jp/uploaded/attachment/67063.pdf>

第4節 施工体制台帳

技術者台帳及び役割分担表の提出は不要とする。

第2章 施工条件

第1節 用地

現場の復旧
原形復旧とする。

第2節 建設副産物

1 建設発生土（搬出（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地，又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地，又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地，又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

3 産業廃棄物（搬出）

受注者は，流木等を現場外搬出する場合は，産業廃棄物処理計画書を提出し監督員の承諾を得た後に処理しなければならない。

産業廃棄物処理計画書には，次の関係書類を添付しなければならない。

産業廃棄物処理委託契約書（写）

処理業者の許可証（写）

積込・保管施設，中間処理施設，最終処分場までの運搬経路地図及び写真

受注者は，産業廃棄物管理票（マニフェスト）により，適正に処理されていることを確認するとともに，産業廃棄物処理状況のわかる写真とともに，施工管理資料として提出しなければならない。

また，受注者は平均的な大きさの流木の直径，長さを撮影し，施工管理資料として提出しなければならない。

第3節 その他

1 工事中機資材の仮置き

受注者が責任を持って確保すること。

2 工事保険等

受注者は，本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要にする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また，加入した保険等については，保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお，加入に必要な保険料等は，設計で現場管理費に見込んでいる。

3 法定外の労災保険の付保

（1）受注者は，本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。

（2）受注者は，建設工事請負契約約款第54条に基づき，法定外の労災保険契約を締結したときは，その証券またはこれに代わるものを速やかに監督員に提示しなければならない。

（3）法定外の労災保険は，政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり，（公財）建設業福祉共済団，（一社）建設業労災互助会，全日本火災共済協同組合連合会，（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で，労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

4 週休2日工事

本工事は，「受注者希望型」による，週休2日工事の試行対象工事であり，実施にあたっては，「三原市週休2日工事等試行要領」に基づき実施するものとする。

第3章 その他

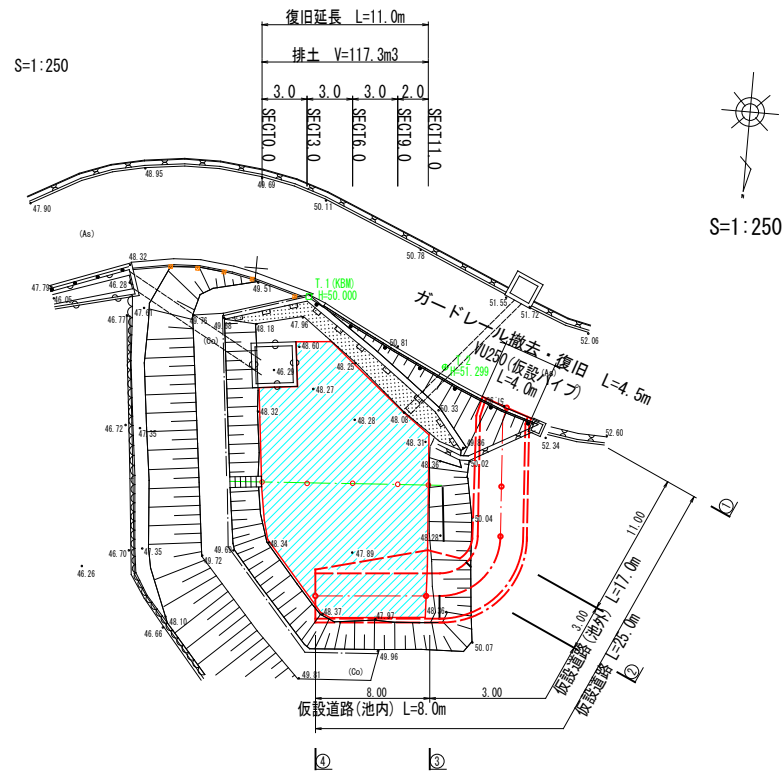
本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

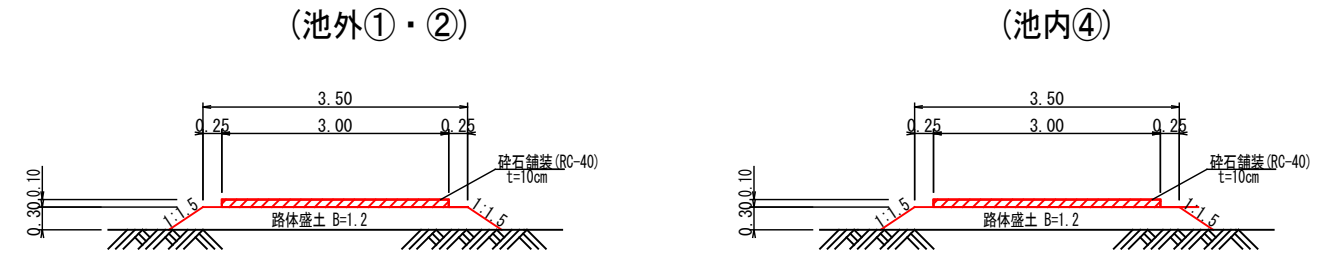
費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
本工事費					
災害復旧工事(奥本上池)		式		1	レベル1
土工		式		1	レベル2
排土工		式		1	レベル3
土砂掘削	【施工区分】	m3		117	レベル4
運搬・処分工		式		1	レベル3
土砂撤去		m2		117	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
仮設道路		式		1	レベル3
仮設道路設置		式		1	レベル4
舗装工		式		1	レベル4
仮設道路撤去		式		1	レベル3
掘削	【土質】	m2		68	レベル4
運搬工	【土質】	m3		68	レベル4
ガードレール撤去・設置	【材料種別】	m		4.5	レベル4
仮設パイプ	【規格】	m2		4.0	レベル4
直接工事費					
共通仮設費率分額					

工事数量総括表

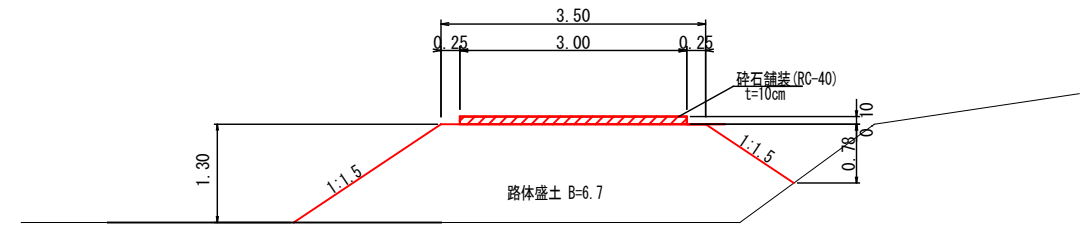
	費目・工種明細など	規格1・規格2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	備 考
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理费率分						
一般管理費計						
工事価格計						
消費税相当額計						
請負工事費計						



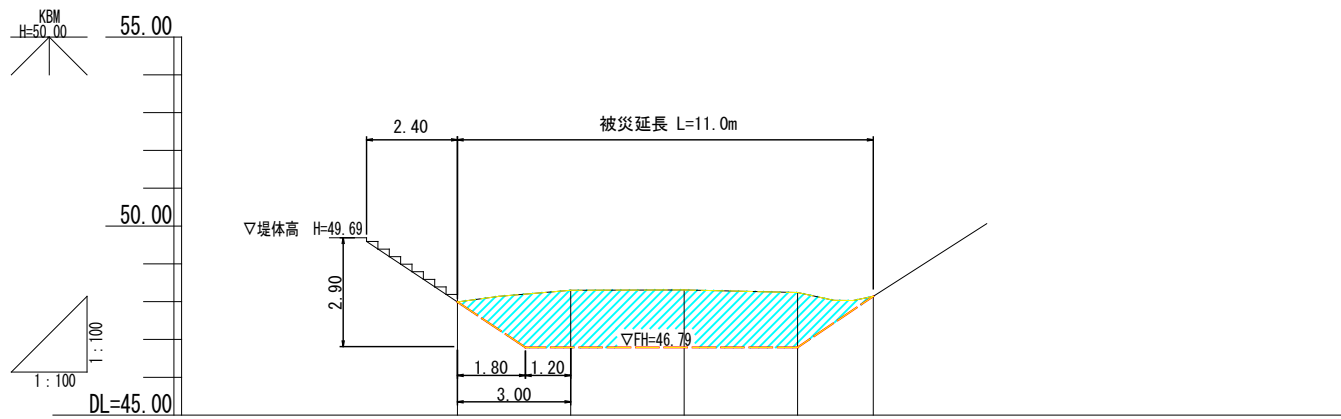
仮設道路(盛土)
 標準横断面
 (W=3.5m) S=1:50



(池内③)
 SECT. 17.0付近



縦断面 1:100



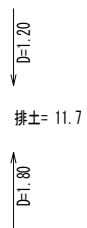
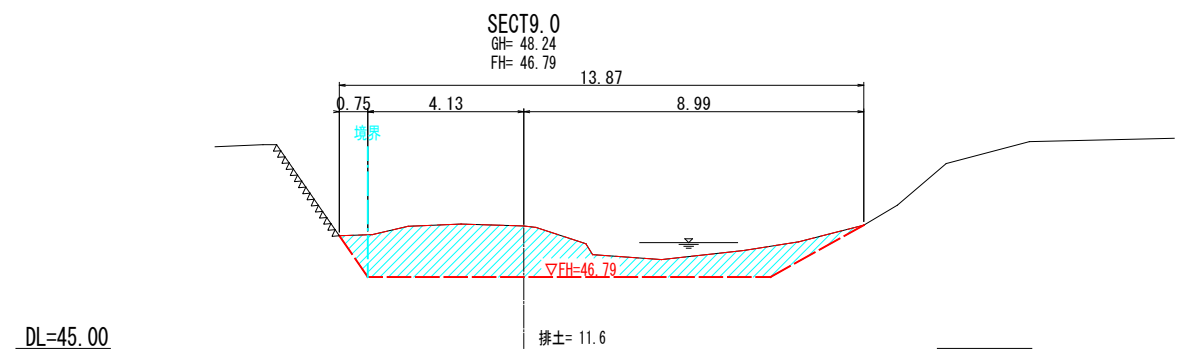
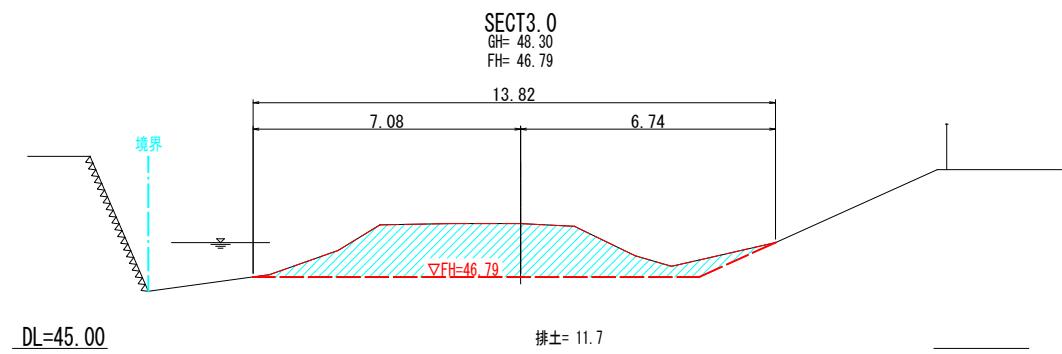
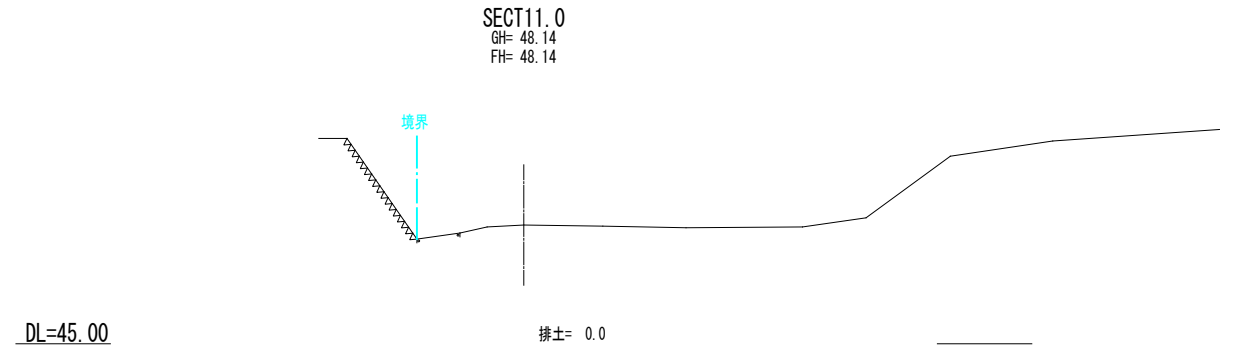
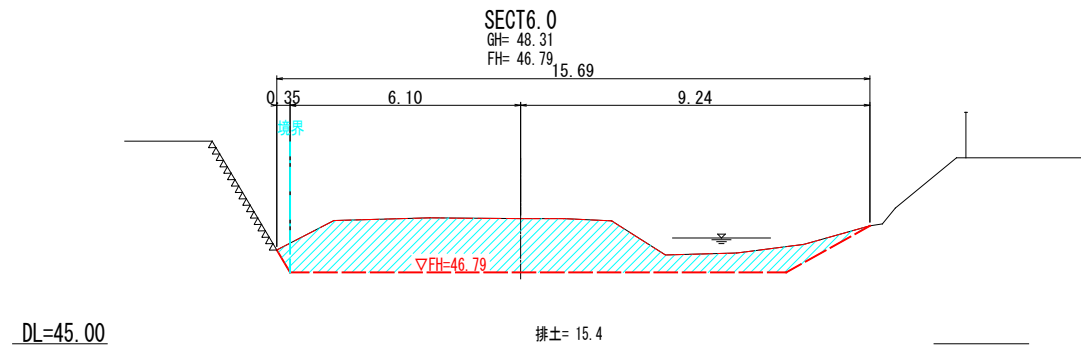
勾配		47.99		48.14	
計画高		47.99	46.79	46.79	48.14
地盤高		47.99	48.30	48.31	48.24
追加距離		0.00	3.00	6.00	9.00
点間距離		0.00	3.00	3.00	2.00
測点		SECTO.0	SECT3.0	SECT6.0	SECT9.0
					SECT11.0

501
204

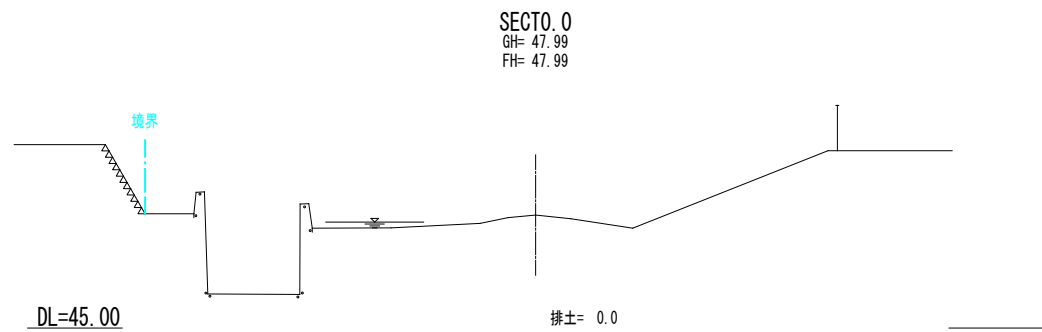
小運搬 なし

図面の名称	図面番号
令和5年7月7日~7月10日梅雨前線豪雨災害 奥本上池 復旧計画図	1 / 2
測量	令和 年月 日終了
設計	
燧原図	
図複写	

横断図 S= 1:100



排土= 11.7



501
204

小運搬 なし	
図面の名称	図面番号
令和5年7月7日~7月10日梅雨前線豪雨災害 奥本上池 復旧計画図	2 2
測量	令和 年 月 日終了
設計	
燃原図	
図複写	

参考資料

(奥本上ため池災害復旧工事(501))

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.11.01(0) 9 公共(011015～)		
	当世代	前世代	
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 ICT補正区分	21 ため池工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 05 中山間地域 03 計上しない 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
災害復旧工事（奥本上池）										レベル1
土工	1				式					レベル2
排土工	1				式					レベル3
土砂掘削 【施工区分】	1				式					レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	117				m3					00
運搬・処分工	117				m3					単第 0 -0001号表 レベル3
土砂撤去	1				式					レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	117				m2					00
	117				m3					単第 0 -0002号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
建設発生土受入費 土砂									00	
仮設工	117		m3							レベル2
仮設道路	1			式						レベル3
仮設道路設置	1			式						レベル4
	25		m							レベル4
路体(築堤)盛土・埋戻 施工幅員2.5m以上4.0m未満	60		m3						00	単第 0 -0003号表
搬入土 購入土(再生土)	80		m3						00	単第 0 -0004号表
舗装工	75		m2							レベル4
砂利舗装工 敷均し幅2.0m以上2.5m未満 小型バックホウ敷均し 敷均し	75		m2						00	単第 0 -0006号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設道路撤去									レベル3	
	1			式						
掘削 【土質】									レベル4	
	68			m3						
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準									00	
	68			m3					単第 0 -0001号表	
運搬工 【土質】									レベル4	
	68			m3						
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)									00	
	68			m3					単第 0 -0002号表	
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
建設発生土受入費 土砂									00	
	68			m3						
ガードレール撤去・設置 【材料種別】									レベル4	
	4.5			m						
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 土中建込 A,B,C(支柱間隔4m)									00	
	4.5			m					単第 0 -0008号表	

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-C-4E [規]21m未満	4.5	m			00 単第 0 -0009号表
仮設パイプ 【規格】	4.0	m			レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm	4.0	m			00 単第 0 -0010号表
直接工事費					
共通仮設費率 分額					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費率 分						
一般管理費計						
** 工事価格計 **						
** 消費税相 当額計 **						
** 請負工事費計 **						

施工単価表

掘削

SPK23040001

単第 0 -0001号表

土砂 上記以外(小規模)

標準

1

m3 当り

機械構成比: 28.44% 労務構成比:

59.55%

材料構成比: 12.01%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,147.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	28.44%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	59.55%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第 0 -0002号表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 25.13% 労務構成比:

61.92% 材料構成比: 12.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,045.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.13%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.92%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

路体(築堤)盛土・埋戻
 施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPKN2304004

単第 0 -0003号表

機械構成比: 16.95% 労務構成比: 73.89% 材料構成比: 9.16% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m3 当り 774.1500

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.87%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	8.08%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
運転手(特殊)	65.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.16%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

土砂等運搬

SPK23040002

単第 0 -0005号表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 46.25% 労務構成比:

38.07% 材料構成比: 15.68%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,330.1000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	46.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.07%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.68%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=24 距離7.5km以下(6.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

砂利舗装工
敷均し幅2.0m以上2.5m未満

小型バックホウ敷均し 敷均し

単第 0 -0006号表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.22	人			
普通作業員	0.69	人			
再生クラッシュラン 40～0mm	11.60	m3			
小型バックホウ運転 加-ラ型[標準型] 山積0.13m3 (平積0.1m3) 排出ガス対策型2次基準	0.40	日			単第 0-0007号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=2 敷均し幅2.0m以上2.5m未満 C=1 敷均し E=3 再生クラッシュ R C - 40 G=2 舗設材単価 0 円区分：なし			B=2 小型バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ(cm) H=0 敷材単価(円)(G = 2の時)		

施工単価表

暗渠排水管

SPK23040092

単第 0 -0010号表

据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm

1

m 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 10.45%

材料構成比: 89.55%

市場単価構成比: 0.00%

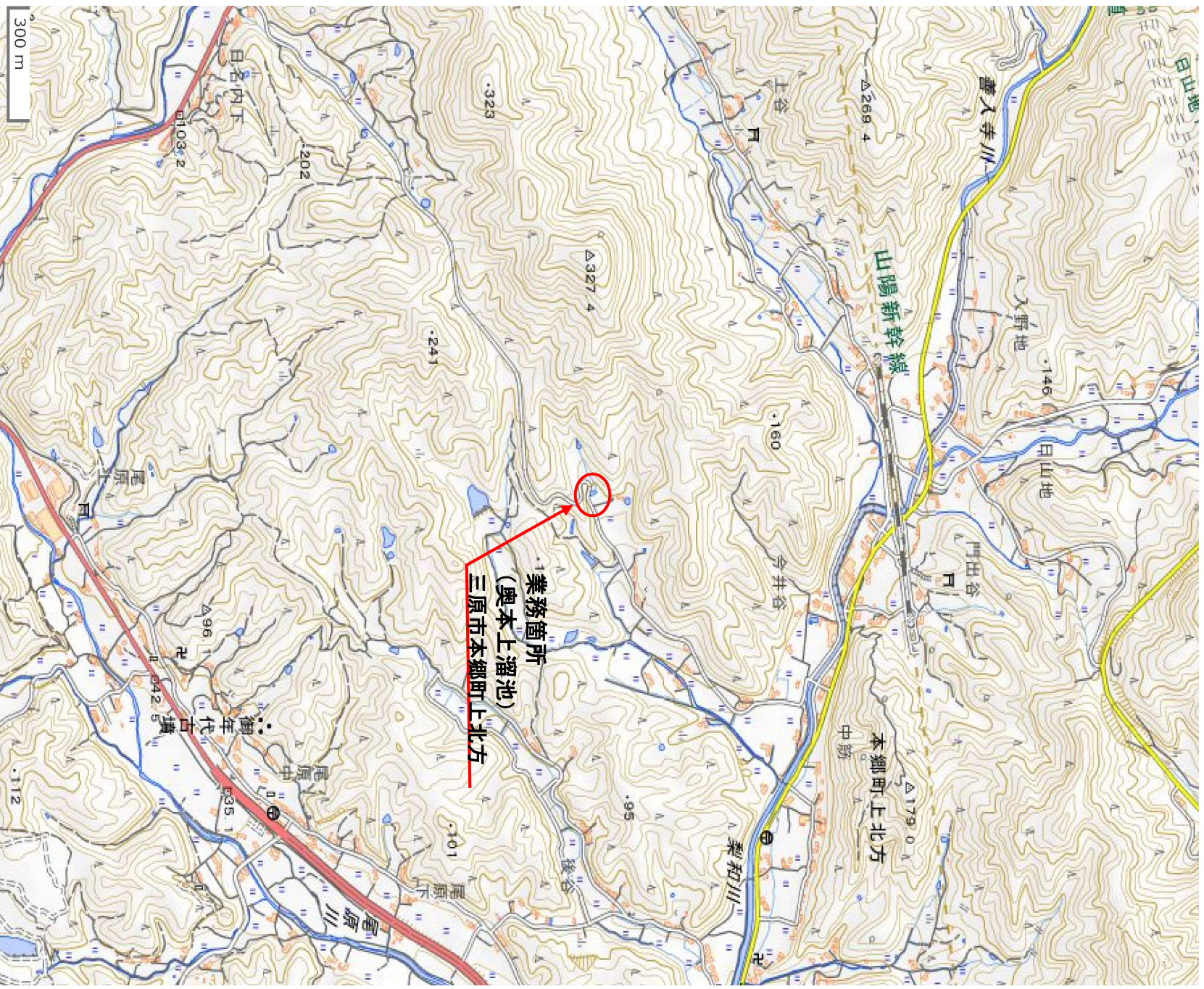
標準単価:

3,699.7000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	7.23%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径250mm	89.55%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0272 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=2 継手材料費不要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=34 シングル 合成樹脂排水材 呼び径250mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

位置図

(34.406539 132.939845)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。